

委託業務特記仕様書（令和元年5月1日以降適用）

（共通仕様書の適用）

- 第1条** 本業務は、「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」に基づき実施しなければならない。なお、これらに定めのないもので、港湾設計・測量・調査等業務にあつては「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書（国土交通省港湾局）」に基づき実施しなければならない。
- 2 ただし、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針等は改定された最新のものとする。なお、業務途中で改定された場合はこの限りでない。

（共通仕様書の変更・追加事項）

- 第2条** 「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」に対する【変更】及び【追加】仕様事項は、次のホームページに掲載の「委託業務共通仕様書（変更・追加事項）」のとおりとする。なお、入札公告日又は指名通知日における最新のものを適用するものとする。

（徳島県HP）：「委託業務共通仕様書について」

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/2009033100099>

（共通仕様書の読み替え）

- 第3条** 「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」において、「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木事業設計業務編】」とあるのは「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木設計等業務編】」と、読み替えるものとする。

（ウィークリースタンス）

- 第4条** 本業務は、ウィークリースタンス（受発注者で1週間のルール（スタンス）を目標として定め、計画的に業務を履行する）の対象業務であり、次の各号に取り組まなければならない。
- （1）ウェンズデー・ホーム（水曜日は定時の帰宅を心がける。）
 - （2）マンデー・ノーピリオド（月曜日（連休明け）を依頼の期限日としない。）
 - （3）フライデー・ノーリクエスト（金曜日（連休前）に依頼をしない。）
- 2 前項第1号は必ず実施するものとし、第2号及び第3号についてはどちらか一方は必ず実施しなければならない。なお、前項第1号から第3号に加えて別の取組を行うことを妨げない。
- 3 ウィークリースタンスとして取り組む内容は、初回打合せ時に受発注者の協議によって決定する。決定した内容は打合せ記録簿に整理し、受発注者間で共有する。
- 4 受発注者は、中間打合せ等を利用して取り組みのフォローアップ等を行わなければならない。
- 5 ウィークリースタンスの取組は、業務の進捗に差し支えない範囲で実施する。

仕様書

1 仕様書の適用

本仕様書は、「R 2 企総管 川口ダム 変形測量他測定業務（以下、「本業務」という。）」に適用する。

2 業務目的

本業務は、ダムの安全確保のためダム構造物管理基準に基づき、点検調査することを目的とする。

3 業務内容

- ① 業務内容は、変形測量、水準測量、漏水量及び揚圧力測定を行うものである。
- ② 変形測量及び水準測量は、ダム本体の測点を、四半期毎にそれぞれ1回（年間計4回）実施する。
- ③ 漏水量測定は、ダム本体観測孔19箇所の1分間の漏水量を、月1～2回程度測定する。
なお、年間で16回程度の測定ができるものと見込んでいる。
- ④ 揚圧力測定は、ダム本体観測孔14箇所の揚圧力を、四半期毎にそれぞれ1回（年間計4回）測定する。
揚圧力測定の実施については、漏水量測定日の前日に揚圧力計を設置し、漏水量測定時に測定する。
揚圧力計については、事務所から貸与とする。
- ⑤ 漏水量及び揚圧力測定は、出水により観測孔が水没する場合がありますので、測定予定日前に確認すること。測定回数に変更する恐れが生じる場合は、速やかに監督員に報告しその指示を受けること。なお、測定の際に使用する安全帯やロープ等は受注者において用意のうえ、良好に点検・管理を行うこと。
- ⑥ 測定値の報告は、取りまとめて翌月の測定日までにメールで監督員に提出する。測定値により、年間の測定値集計表とグラフ及び過去2年間との対比グラフを作成する。
- ⑦ 業務計画書は、事前に監督員と打ち合わせのうえ提出すること。